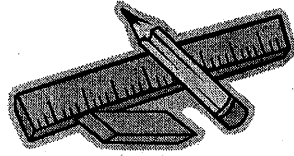


じっせん 実践！こども会かべ新聞づくり講座 2015

平成27年7月12日（日）
こども会かべ新聞の作り方講習資料
大東市立市民会館 中会議室



1. かべ新聞とは

いろいろな主張やニュース・写真などを編集して、壁や掲示板にはりだす新聞。
手書きのものが多く。

☆ かべ新聞の特徴

1. 手軽で手間がかからない。
2. 模造紙に黒マジックで書くのが普通だが、工夫を加えると、かなり高度なものができる。

2. 新聞づくりのねらい

1. こども会の活動を紹介しながら、明るいこども会をつくる。
2. 「知りたい、知らせたい、知られたい」を通して、人間関係を育てる。
3. 書くことで、考えを深めることができる。
4. 役割を分担することにより、一人ひとりの計画性や責任感、協調性を育てる。
(紙面に仲間を発見する)

3. 新聞づくりの流れ

企画会議 → 記事づくり → 編集会議 → 紙面づくり → 完成・発表

1. 企画会議

① 題字（新聞の名前）を決める

- ・題字は新聞の「顔」。⇒題字は大事！
- ・みんなで話し合っ、**「〇〇こども会」**を代表する名前をつけよう。
- ・字体や題字の背景を工夫しよう。（毛筆・絵筆・クレヨンで書く。絵・図柄、レタリングなど）

② 記事内容の話し合い

- ・どんな記事をつくるかを話し合おう。（5～6つぐらいが標準）
- ・たとえば、*こども会の活動、行事、できごと *こども会の主張や課題
*自分たちの地域のできごと *こども会の仲間や指導者
- ・トップ記事（一番重要な、一番伝えたい記事）を決めよう。
※ただし、記事は新しさが命（いのち）ということをお忘れのこと。

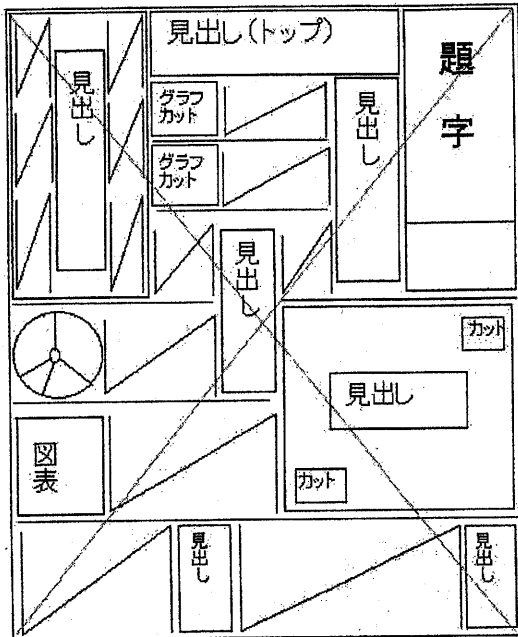
③ 役割分担

- それぞれの記事の担当者、全体のレイアウトの担当者、カット・イラストの担当者など。

- 各担当者は、できれば複数で。

④ 紙面のレイアウト、字数の決定

- 紙面づくりのコツ



- 外枠をペン（鉛筆で下書き後）で描く。同じ間隔で段を鉛筆でうすく区切る。（5～6段くらいがレイアウトしやすい）
- 題字・トップの記事を配置する。
- 見出しやカット、グラフなどを対角線上になるように配置していく。
- 見出し、写真は、上に大きく下に小さく。
- 見出しを縦書きや横書きにしたり、かこみ記事を入れると変化がつく。
- 記事が多すぎると読みにくいので、3つか、多くても4つにしぼる。
- 記事のタイトルは大きめに

2. 記事づくり

① 記事に関する情報収集・取材・アンケート

- 企画会議で決まったことをもとに情報を収集しよう。
- 集めた資料のうち、図や表にした方がわかりやすいものは図や表にまとめる。
- 自分たちのことも会ならではの話題をさがそう。

② 記事の下書き

- 情報を整理する。（大切な部分だけを選び、残りは思い切って捨てる）
- 決まった字数内で、要点をまとめる。（記事用の原稿用紙をつくると便利）
- 記事は、「短く、やさしく、はっきりと」できれば、「いつ＝日時、どこで＝場所、だれが＝人、何を＝目的・行為、なぜ＝原因・理由、どのように＝手段」を入れるのが原則。（5W1Hの6要素）
- 記事は具体的であること。そして客観的であること。
- ニュース記事は、逆三角形。（一番大事な結論→状況・経過→比較的重要性の少ない事柄）
- 悪口やうそや人を傷つけることや大げさに書いたりしない。また、人気者ベスト〇〇なんていうのもやめよう。
- 誤字（まちがった字）・脱字（書き落とした字）がないか注意する。
- 人を傷つけるような記事は、絶対にさける。

3. 編集会議

① 紙面のレイアウト、記事の配置

- ・割りつけ用紙に線を入れ、記事を区分する。
- ・トップ記事は何にするか、セカンド記事、サード記事は・・・。
- ・たたみ記事（普通は紙面の左上：こども会の主張・意見など）はどうするか。
- ・かこみ記事（普通は紙面の右下：アンケートなど）はどうするか。
- ・記事内容、字数の再検討。

② 見出しの言葉を考える

- ・記事の一番大切な部分や訴えたいことは？
- ・記事の中身を読まなくても内容がつかめるように。（短く、わかりやすく）
- ・書いた記事の中から見出しを見つける方法もある。
- ・「〇〇について」「〇〇を終えて」のようにならないように。
- ・見出しを見て、読んでみようと思わせる＝人を引きつけるような工夫をする。
 - ◇具体的に 「〇〇チームの勝利」→「〇〇くん、笑顔のサヨナラホームラン」
 - ◇倒置法 「こども会フェスティバルで 〇〇こども会金賞受賞」
⇒ 「〇〇こども会金賞受賞 こども会フェスティバルで」
 - ◇体言止め 「きまりを一部改正しました」→「きまりを一部改正」

4. 紙面づくり

① 題字・見出しづくり

- ・レタリング、色をぬる、白で抜く、スクリーントーンの利用など。
- ・商業新聞の見出しも参考してみよう。

② 編集者の名前を入れる

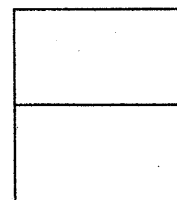
- ・責任を持って新聞をつくっていることを示すため。

③ カット、写真、図、表の作成

- ・記事の内容にあったカット・イラストを描く。
- ・絵を描くのが苦手な場合は、市販のカット集などを参考に描いてみよう。

④ 囲みの線、区切りの線を入れる

- ・レイアウトを考えて。
- ・基本的には「腹切り」にならない方がよい。
（記事が切れて、読む流れが悪くなる。）
- ・「飾り罫」などの工夫を。
（特にかこみ、たたみ記事の線に利用）



←「腹切り」

※困った時は一步、かべ新聞をはなれて見てみよう。思っている通りの壁新聞になっているか見えてきます。

⑤ 記事の清書

- 清書する前に、もう一度記事を読み返して誤字・脱字がないかチェックする。
- 迷ったら、辞書を引こう（労力を惜しまず）。

⑥ 紙面の整理

- 鉛筆で書いた線などをきれいに消す。

⑦ できあがりの確認

- 誤字・脱字はないか。
- 読みやすく、美しい文章になっているか。
- 見出しの言葉は適切か。
- 記事の内容と合っているか。
- レイアウトに工夫がされているか。
- 記事の中身は充実しているか。
- それぞれのこども会の特色は出ているか。



5. 発表

① 掲示する

- できるだけ多くの人に見てもらおう。
- アンケートを書いてもらうなどして、ぜひ感想を聞こう。

② 反省会

- 反省点を出し合い、次回はさらに良い新聞をつくろう。

さあ、みんなでつくってみよう！